科目ナンバリング	U-LAS00 20006 LJ34						
授業科目名<英訳>	認識人間学II Epistemological Human Studies II			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	青山　拓央	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	火4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

私たちは世界のなかに、事物だけでなく「価値」も見いだします。そして自らの人生が価値あるものであることも欲します。しかし、価値はどのような仕方で存在し、どのような仕方で認識されるのでしょうか。本授業では、「幸福」「善」「美」などのテーマを取り上げ、たんに主観的な幻想ではなく、しかし客観的な物質とも異なる、価値というものの在り方とその認識論上の意味を探ります（その際、おもに分析哲学における様々な知見を参照します）。参考書である『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』（太田出版）の一部をブラッシュアップした内容と、他の多くの先行研究について、お話しをする予定です。

[到達目標]

おもに分析哲学に関する基礎的な知識を得るとともに、価値と認識との関係について、さまざまな観点から理解を深める。

[授業計画と内容]

下記の５つのテーマに沿って、価値と認識との関係を考えます（授業の進行具合に応じて、どのテーマに何週をあてるかを変更する場合があります）。

１．ガイダンス・幸福は哲学の問題になるか（第１週～第２週）
２．内在的幸福と外在的幸福（第３週～第４週）
３．分析哲学での「価値」の議論（第５週～第８週）
　（「幸福」「善」「美」等を検討。）
４．枚挙的質問と説明的質問（第９週～第１０週）
５．可能世界と価値判断（第１１週～第１４週）

第15回：フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

レポートにて成績を評価します。採点基準はやや厳しめで、講義内容を十分に理解しているかと、自分の考えを論理的に説明しているかを中心的に評価します。

[教科書]

使用しない

認識人間学II(2)へ続く↓↓↓

認識人間学II(2)

[参考書等]

（参考書）
青山拓央『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』（太田出版）ISBN:9784778315351

[授業外学修（予習・復習）等]

授業前の予習はとくに必要ではありませんが、授業後の復習は十分に行なってください。

[その他（オフィスアワー等）]

教室収容人数に応じて、受講者を制限することがあります。授業での積極的な質問・発言を期待します。

[主要授業科目（学部・学科名）]